

## 県内初の大規模展「ああ これはなんという美しい憂鬱だろう —ムットーニのからくり文学館」を開催

自動からくり人形作家のムットーニこと武藤政彦（むとうまさひこ）さんの、人形と機械装置、光と闇、音楽と語りなどが織りなす、唯一無二の作品世界を紹介。県内初の個展開催となります。

### 1 概要

萩原朔太郎の作品を愛するムットーニは、「猫町」「題のない歌」「シグナル・メモリー」「殺人事件」「風船乗りの夢」と、これまで数々の詩や小説を独自の解釈で「ボックス・シアター」として作品化。今回は、それらの作品を一堂に集め展示します。

### 2 意義・みどころ

萩原朔太郎の詩作品「恐ろしく憂鬱なる」からインスピレーションを受けた新作「アンダー・ザ・ウッズ」を初公開。朔太郎の詩の世界を深く掘り下げ、従来にはない新しい作品世界を表現しています。

その他、個人蔵を加えた作品を集め、一度に鑑賞できる県内初の展覧会となります。

### 3 内容

オリジナル作品「カンターテ・ドミノ」「ギフト・フロム・ダディ」を含む全18点をご紹介します。そのほか、作品制作の裏側を垣間見られる作品設計図、アトリエパーツや朔太郎の直筆原稿もあわせて展示します。

### 4 公開の日時・場所

- (1) 日時 令和3年10月9日（土）～令和4年1月16日（日）まで  
9時～17時（入場は16時30分まで）
- (2) 場所 前橋文学館 2階展示室・3階オープンギャラリー  
（千代田町三丁目12-10）
- (3) 観覧料 一般500円（高校生以下、障害者手帳持参の方と介護者1名は無料）

### 5 今後の展開

公開前日の10月8日（金）14時より、報道機関向けの内覧会を実施します。作家本人の作品紹介と解説、取材に応じられる機会となります。是非ご来館ください。

担当 文化国際課 文学館  
電話 027-235-8011